

科目名	教育社会学	
担当者	江坂 正己 / ESAKA, Masaki	
科目情報	心理臨床<関連> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次 読替科目：平成23年度以前入学生「教育社会学Ⅰ」	
科目概要	授業内容	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項について講ずる。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を&lt;社会化&gt;の視点から理解する。</li> <li>・&lt;社会化&gt;にかかわる様々な社会集団の役割について理解する。</li> <li>・子どもの発達を現代的な社会状況と関連づけて把握できるようになる。</li> <li>・子どもの問題行動を把握しその社会的性格を理解できるようになる。</li> </ul>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) はじめに</li> <li>(2) 子どもの発達と社会化</li> <li>(3) 家族集団と子どもの社会化</li> <li>(4) 仲間集団と子どもの社会化</li> <li>(5) 近隣集団と子どもの社会化</li> <li>(6) 学校集団と子どもの社会化</li> <li>(7) 中間まとめ</li> <li>(8) 少子化と子育て支援</li> <li>(9) 学歴社会の変貌</li> <li>(10) マス・コミュニケーションと社会化環境</li> <li>(11) ニューメディアと子ども</li> <li>(12) 非行の現在</li> <li>(13) 児童虐待</li> <li>(14) 不登校・ひきこもり</li> <li>(15) 総まとめ</li> </ol>	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了時に、毎回、小コメントの提出を課す。</li> <li>・授業計画の適当な節目に、テーマを与えた小レポートを課す。</li> </ul>
使用教材・参考文献	<p>【教】 住田・高島編著『子どもの発達社会学 教育社会学入門』北樹出版 2011年</p> <p>【参】 久富・長谷川編『教育社会学』学文社 2008年</p> <p>岩永・稲垣『新版 教育社会学』放送大学教育振興会 2007年</p> <p>A. H. ハルゼー他編／住田正樹他編訳『教育社会学 第三のソリューション』九州大学出版会 2005年</p>	
成績評価方法と基準	<p>&lt;基準&gt; 到達目標に沿い総合的に判断し一定の水準に達していれば合格。</p> <p>&lt;方法&gt; 学期末終了試験70% 受講態度15% 小レポート等15%</p>	
備考		